

1. 件名：「志賀原子力発電所 2 号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング (50)」

2. 日時：令和 3 年 9 月 8 日（水） 13 時 30 分～ 15 時 10 分

3. 場所：原子力規制庁 9 階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐※、佐口主任安全審査官、海田主任安全審査官、谷主任安全審査官、西来主任技術研究調査官、磯田係員、松末技術参与

北陸電力株式会社：小田執行役員 他 9 名 ※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 敷地周辺の地質・地質構造について 敷地近傍の断層の評価（コメント回答）
- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 敷地周辺の地質・地質構造について 補足資料
- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 敷地周辺の地質・地質構造について データ集 1（空中写真・ボーリング柱状図・ボーリングコア写真・BHTV）
- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 敷地周辺の地質・地質構造について データ集 2（音波探査記録）
- ・ 志賀原子力発電所 2 号炉 適合性審査コメントリスト【敷地周辺の地質・地質構造】

時間	自動文字起こし結果
0:00:04	原子力規制庁の谷です。それではヒアリングを始めたいと思います。今日のヒアリングとしては、志賀原子力発電所 2 号炉の敷地周辺の地質地質構造について、
0:00:17	敷地近傍の断層の評価のコメント回答ということですね、ヒアリングを行います。それでは資料のほうをまず説明していただきたいんですけど、前回のヒアリングで聞いてるところはもうはしを追ってもらって、
0:00:33	特に新しくちょっと変わってるところとか、追加した内容について説明いただけたらと思います。よろしくお願いします。
0:00:46	はい北陸電力の様子でございます。
0:00:49	本日はよろしくお願いいたします。まず初めにですね、資料の確認をさせていただきます。
0:00:56	表紙にコメント回答と書いたものが本資料でございます。
0:01:00	そして補足資料としてデータ集 1 として、A3 のものがデータ集にという以上 4 点となります。
0:01:09	後ですね本日の参考としまして、回答済みのコメントも処理した。
0:01:14	一覧表をおつけしてございます。
0:01:16	それでは説明させていただきます。
0:01:19	前回ですね、8 月 2 日のヒアリングにおいてを受けるっていう確認の中でいただきました御意見などを踏まえまして、当社としてより説明性を向上させるために記載の充実化を図ってございます。
0:01:35	さらに一部の評価につきましては、データ拡充も行い根拠となるデータを充実させております。
0:01:43	今日はですね、こういった内容を含めまして、前回からの変更点を中心に御説明させていただきます。
0:01:50	説明を 30 分弱を予定してございます。
0:01:54	それでは本資料のほうをご覧いただきたいと思いますがまず 4 ページと 5 ページ。
0:01:59	ここですね断層の評価の一覧、そして、6 ページ。
0:02:05	ここにはですね、前回会合からの評価の変更といった内容が示しておりますが、これにつきましては、前回と変わってございません。
0:02:16	7 ページご覧いただきたいと思います。
0:02:20	このページはですね、前回会合以降に追加したデータをまとめて記載してございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:26	ここで追加調査を行うにあたっての考え方、これにつきまして表の下に続き、しております。
0:02:34	これにつきまして説明させていただきます。
0:02:37	まず(1)a断層の推定位置、或いは推定延長位置付近における
0:02:43	地表踏査、または断層の推定値、或いは推定延長位置を横断する表土はぎ調査、などにより、露頭を観察し、断層の有無を確認するというのが一番です。
0:02:57	そして次に(2)にこの一番で示した蒸気手法による確認が困難な場合には、ボーリング調査により、断層の推定値、或いはその推定延長位置の地下の地質状況を確認し、断層の有無を確認すると。
0:03:14	こういった考え方で追加調査を実施しております。
0:03:19	続きまして8ページ9ページ、このコメント一覧と回答の概要につきましては、基本的には変更はございません。
0:03:28	それでは引き続きまして本文12ページ以降につきましてキムラのほうから説明をさせていただきます。よろしくお願いいたします。
0:03:37	はい、北陸電力キムラです。12名、12ページからの資料の内容につきまして、前回のヒアリングからの変更点等につきましてご説明します。
0:03:48	まず一章の敷地周辺の地質構造につきまして、37ページをご覧ください。
0:03:58	37ページ、敷地近傍の地質分布図、地質分布図でございますが、右下のほうに、
0:04:06	紫色の文字で記載の通り、敷地近傍で実施した地表踏査結果を踏まえて、この地質分布を一部修正しております。
0:04:17	これにつきましては後程該当の地表踏査のデータのところでご説明します。
0:04:25	次に福浦断層の評価につきまして60ページをご覧ください。
0:04:33	60ページ裏断層の評価結果になりますが、前回のヒアリング資料では福浦断層の北端を膨らみ等東部括弧n
0:04:42	南端をカスミ東部というふうに地名を用いておりましたが、端部を確認した地点をより具体的にわかりやすくするために北端をルートマップDの表土はぎ箇所へ南端をルートマップFの表土はぎ箇所。
0:04:59	というように調査地点の名称に具体的に変更をしました。
0:05:04	以降の資料につきましても同様に端部の名称を変更しております。
0:05:11	またリニアメント変動地形の端部につきましても、北端には、LNへ南端にはNSというように名称をつけて絵図でわかるように示しております。
0:05:24	次に61ページをご覧ください。
0:05:27	これは今回追加したページになります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:30	福浦断層も含めて、各断層の資料の冒頭で調査の目的地点数量が1ページでわかるように位置図と一覧表でまとめております。
0:05:44	右の一覧表でそれぞれの調査内容1目的を示しております、それぞれの調査データのページとひもづけをしております。
0:05:55	他の断層等につきましても同様に、このように調査地点についてまとめております。
0:06:02	続きまして64ページをご覧ください。
0:06:07	64ページ福浦断層周辺の段丘面調査につきまして、今回3ヶ所のデータを追加しております。
0:06:15	追加したのは、右の表の下のほうになりますが、
0:06:21	○の31番、32番、33番の3ヶ所の剣道場調査になります。
0:06:29	調査の結果福浦断層の北端付近の高位段丘面において土壌やK-Tzなどの火山灰を確認しております、この詳細データは、補足資料の2.2-1の(8)のほうに追加して示しております。
0:06:47	次に67ページをご覧ください。
0:06:53	67ページ村断層周辺の地質図になりますが、断層トレースを黒で示しているページになります。
0:07:03	断層トレースが日本に分岐する部分につきまして、上の箱書きの三つ目のマル。
0:07:11	上から三つ目の丸に括弧書きで記載を追加しております。
0:07:16	積がダム右岸の2本の断層については、いずれも福浦断層に対応すると評価していることを括弧書きで明記をしました。
0:07:29	次に70ページをご覧ください。
0:07:34	70ページF受けて北方周辺のボーリング調査、Fk1項につきましては、左下に紫色で記載しておりますが、これは前回審査会合資料では今月標高を、
0:07:51	94.46mと記載しておりましたが、
0:07:55	94.48mと紫色で記載の適正化をしました。
0:08:03	次に81ページをご覧ください。
0:08:11	81ページ、大坪がダム左岸のF1'孔で確認した破碎部は福浦断層に対応すると判断した根拠として、上の箱書きで性状に関する記載を充実させております。
0:08:28	上から二つ目の丸ですが、深度32.17から18mでは周辺よりさらに細粒化がすでに厚さ0.7から1.9cmの角礫状破碎部から、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:43	なっているということ。それから三つ目の丸でこの破碎部は未固結は角礫状破碎部であり、角礫状破碎部であり、走向傾斜福浦断層と調和的でリニアメント変動地形とを対応する位置に当たることから、
0:08:59	福浦断層に対応すると判断したということに記載しております。
0:09:05	なおこの破碎部付近は再編上から断片上程しておりまして、周辺と比べて軟質となっております。
0:09:13	こういった破碎部の性状がわかるように、次の 82 ページに拡大写真を追加しております。
0:09:21	なおこのF1' 孔の不振長につきましては、前回のヒアリング資料では 70mとなっておりましたが、71メートルと記載の適正化をしております。
0:09:34	次に 83 ページをご覧ください。
0:09:39	83 ページ、反射法地震探査の測線位置図になりますが、
0:09:44	福浦断層の西側に認められる撓み状の地形の位置を黒の矢印で加筆しております。
0:09:53	そして、今回 86 ページに、
0:09:56	反射断面の解説を追加しております。
0:10:02	図中に、
0:10:04	反射面のずれが認められる例として、丸栄、
0:10:08	変形が認められる例として、マルB-1 を矢印で加筆しております。
0:10:15	リニアメント変動地形の地下にはこのように、西側上がりの系統的な反射面のずれ及び変形が認められまして、これはステップしながら深部へ連続するということが確認できます。
0:10:30	またバックスラスト上の断層については撓み状の地形が認められる範囲を図の上のほうに過失しておりますが、撓み状の地形の西縁にあたる位置の地下に東側上がりの反射面のずれ及び
0:10:47	変形が認められるということを追記しております。
0:10:52	次に 89 ページをご覧ください。
0:10:58	89 ページ北端付近の地形断面図になりますが、右に示す断面図で赤枠で囲った範囲の拡大図を次の 90 ページのほうに追加しておりまして、この地形に関する説明を追記しております。
0:11:17	90 ページの右の一番下の
0:11:20	リニアメント変動地形を判読している範囲のA1A1' 断面では明瞭な逆向きの低害が認められまして、その西側の高位段丘Ⅲ面付近が局所的に映像傾斜しているね撓み状の地形が認められます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:38	下から2番目のNetN1'断面から北側が理念と変動地形の北方延長になりますが、いずれもA1A一段'断面のような逆向きの堤外及び民状の地形は認められません。
0:11:56	NEL1'断面及びAN3N3'断面には、局所的に鞍部が認められますが、これらはほぼと南方には連続しておりません。
0:12:09	高位段丘面では開析が進んでおり、同様の鞍部は周辺の多い段丘面でも認められますが、これらの鞍部は連続しておらず、周辺のタニからの浸食等の影響により形成されたものと考えられます。
0:12:28	続きまして97ページをご覧ください。
0:12:34	97ページ検討福浦で中島線沿いの他省庁踏査につきまして、
0:12:40	今回作成したルートマップを示しております。
0:12:44	ここで過去に行った調査につきましては、左下のほうに
0:12:51	記載をしておりますが、渦範囲内の県道福浦、中島線沿い、
0:12:57	中島線沿い仮称における発電所建設時の地表踏査データについては、補足資料2.2-1-(5)参照というふうに記載をしております。
0:13:12	続きまして福浦断層周辺に認められるタニつ系につきまして、
0:13:17	113ページをご覧ください。
0:13:24	113ページ、点け改変前後の値を地形の比較というページですけども、タニ地形1と2につきまして、県道建設による点け改変前後の接触立体寄贈を追加して
0:13:41	今、示しまして、左右に並べてつけております。
0:13:46	左の改変後の点けで認められるタニつけ1の一応水色の破線で示しておりますが、右の改変前の地形を見ると、黒い矢印で示した区間で、単に地形が連続せず、
0:14:01	こういう段丘面が横断して分布していることが確認できます。
0:14:06	次217ページをご覧ください。
0:14:12	117ページ、ボーリングで3号風車付近のボーリングFW1項の調査結果になります。
0:14:22	ここで左下のほうの記載でボーリングを実施した目的を追記しておりまして、タニ地形1-1において福浦断層と連続する西傾斜の断層の有無を確認するために、タニと直交する方向に
0:14:38	ボーリング調査を実施したということを記載しております。
0:14:43	前回のヒアリング資料では、ボーリングのくつ慎重をタニつけ1と書いてある谷底の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:50	域までをカバーする 70m というふうにしておりましたが、今回この谷幅全体をカバーするために食っ慎重を 100m まで延長しております。
0:15:03	118、119 ページにコア写真をつけておまして、
0:15:08	前回の資料では深度 61m 付近に堆積構造の記載をしておりましたが、これは A 断層の有無に関連する記載ではないため、今回
0:15:22	削除をしております。
0:15:25	次に、
0:15:26	122 ページをご覧ください。
0:15:35	122 ページ海岸部露岩域のルートマップというページでタニ地形にの延長位置を示した海岸部のルートマップですけれども、前回次の 123 ページの写真を 122 ページと異なる写真を用いて、
0:15:51	用いておりましたのを、今回同じ写真を用いるということで変更しました。
0:16:00	また最新の撮影時期につきましては、いずれも 2012 年 6 月に撮影したものであるということを括弧書きで追記しました。
0:16:12	次に 124 ページの左側に海岸部の拡大写真を示しておりますが、ここではタニ地形に層厚が調和的な設備のうち、連続性のよいものを右下の、
0:16:28	写真①に、
0:16:29	またそれに加えて不連続な設備も分布しておまして、その 1 例を右上の写真②のところに示しております。
0:16:39	これらの設備と敷地前面に分布する破碎部系に経産との違いにつきまして、次の 125 ページで性状を比較して説明を追加しております。
0:16:52	125 ページの右側に示す破碎部では主せん断面の周辺が細粒化しておまして、
0:16:59	合併の延性的な変形などの変形構造が認められるに対して、
0:17:05	左側に示す設備では周辺が細粒化しておらず、変形構造は認められません。
0:17:12	次に 130 ページをご覧ください。
0:17:18	130 ページ、大坪ダム下流のボーリング調査結果になります。
0:17:25	左下の記載で先ほどの FW-1 孔と同様に、ボーリングの目的を追記しております。
0:17:33	タニグチ計算方法につきまして、前回のヒアリング資料では数値で記載しておりませんでしたので、今回左上の位置図にタニ地形全体の走向方向示す路線を過失しまして、
0:17:49	この図の上にタニ地形の方向を N25° E というふうの数値で記載しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:59	また、前回資料では、幅 3cm以上の破砕部である①から⑤について記載しておりましたが、
0:18:08	OT2 項における幅 1cmの破砕部⑥につきましても破砕部 2 の
0:18:15	延長方向に位置しているということで、これを追記しました。
0:18:20	これにつきましては、133 ページをご覧ください。
0:18:26	133 ページの右側が破砕部②どまる 2 の拡大写真と、
0:18:32	某ホール画像になりますが、下のほうの断面図で示すように、
0:18:38	破砕部②の延長位置に破砕部⑥が認められます。
0:18:43	この破砕部についての評価を右側に記載しております、
0:18:49	破砕部②の想定延長位置に
0:18:52	付近に破砕部⑥が認められる。
0:18:55	認められます。しかしながら、これらの破砕部はいずれもタニ地形の方向、N 25° Eと異なることから福浦断層から分岐する断層ではないと評価しております。
0:19:08	また両破砕部の傾斜角が異なるということから、これらは連続する破砕部ではないと評価しております。
0:19:17	破砕部⑥の拡大写真は、
0:19:20	135 ページの下側のほうに追加しております。
0:19:26	不明瞭ではありますが、幅 1cmの来固結した破砕部を確認しております。
0:19:34	福浦断層についての変更点は以上になります。
0:19:40	続きまして、172 ページをご覧ください。
0:19:47	172 ページ数ぼり山北西方法 1 リニアメント周辺の地質図にありますが、
0:19:54	これ右下のほうに紫色で記載しているように越表踏査を実施した結果、173 ページに示すように、リニアメント周辺のサーバー部において、
0:20:07	穴水累層の火砕岩凝灰角礫岩の分布を確認したことを踏まえまして、172 ページの地質図と、
0:20:17	地質断面図について、紫色の凝灰角礫岩と、
0:20:23	あと、橙色の凝灰凝灰岩の分布を修正しております。
0:20:31	続きまして、177 ページをご覧ください。
0:20:38	177 ページたかつぼり山北西方にリニアメントの評価につきまして、
0:20:44	紫色の部分の表土はぎの記載を見直しております。
0:20:50	今回表土はぎ調査位置の結果、断層が認められないことを確認したというデータを追加しております。
0:20:59	前回ヒアリング資料で説明した表土はぎ調査、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:04	表土はぎ調査のほうにつきましては、高位段丘 4 面を構成する砂層に変位変形が認められないというデータになりますが、
0:21:14	穴水累層の岩盤中で、断層の有無を直接確認したものではないということから、これを参考扱いとして、下のなおというところになお書きのところに記載しております。
0:21:30	184 ページに今回追加した表土はぎ調査位置のデータをつつ、
0:21:37	追加してつけております。
0:21:41	184 ページの左上に露頭の位置図、Aルートマップ右上に地形ダンプ人数を
0:21:49	地形断面図に露頭投影して示しております。
0:21:54	路頭AとB、リニアメントの推定値のサーバー部を横断して岩盤を確認しております。
0:22:01	この表土はぎ調査の結果、穴水累層の安山岩質火砕岩が分布し、それらは非破碎であり、断層は認められないことを確認しております。
0:22:12	184 ページの下に露頭Bの連続させる、⑤から⑧つけておりまして、
0:22:21	185 ページにの下部の写真。
0:22:25	鎖線もあるっていう
0:22:27	結果 86 ページに露頭上部の写真⑩をつけております。
0:22:34	それから、187 ページからが前回示していた表土はぎ調査、2 のデータになりまして、段丘面を構成する須永層に変位変形は認められないということを期待しました。
0:22:48	ここで確認された砂層につきまして、左下の米印のところに注釈を追加しております。
0:22:56	S7 層の上部に分布する赤色土壌はご覧を伴うなど、高位段丘で見られる場の特徴を有するということを記載しました。
0:23:06	これは次のページのピット調査により、同じ砂層を確認しておりまして、そのことを左下のほうの記載と柱状図のほうに赤字で示しております。
0:23:22	続きまして 195 ページをご覧ください。
0:23:28	195 ページ高さ絞り山東方リニアメントの評価につきましては、地表踏査、表土はぎ調査、ボーリング調査といった地質調査により、直接岩盤を確認してね、対応する断層は認められないと。
0:23:43	評価しているため、反射法地震探査につきましては、下のほうの青のところに参考扱いとして、期待しております。
0:23:55	209 ページをご覧ください。
0:24:02	200 ページ 109 ページ、反射法地震探査結果になりまして、上の箱書きですけども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:10	反射法探査で地震探査の結果、リニアメントの位置付近には地表付近から深部まで続く系統的な反射のずれや変形は認められず、断層は推定なされないと評価しております。
0:24:25	これにつきまして、211 ページに開設を示しております。
0:24:32	211 ページで得た活動に待とうほぼリニアメントの位置の地下において、一部で反射面の不連続が認められるところがありまして、図中で丸Aですねしたところに矢印で示すように、
0:24:47	不連続面を挟んで発明は水平に分布しているということから、ここに断層は推定されないとすることを追記しており、
0:25:00	続きまして、210 ページをご覧ください。
0:25:05	216 ページの伴島沖断層の評価のところへ長さの評価というところですけども、報告東端の上から三つ目の丸のところ、さらに北東方のNo.108U測線、
0:25:22	の
0:25:24	記載を追加しておりまして、端部を複数のソフト面で示しております。
0:25:30	224 ページに、
0:25:33	今回追加したナンバー
0:25:36	約 8U測線の記録をつけておりまして、いずれの層にも断層が推定できるような変位変形は認められないことを確認しております。
0:25:48	次に 230 ページをご覧ください。
0:25:53	230 ページ、兜岩沖断層の長さの評価のところ、南端のところの記載の上から三つ目の丸のところ、
0:26:03	さらに南方の
0:26:05	ナンバー9.7 という測線という記載を追加しておりまして、端部を複数の測線で示しております。
0:26:16	241 ページに今回追加したNo.9.7 ポイント 1 測線の記録をつけておりまして、
0:26:26	いずれ落ちそうにも断層が推定できるような
0:26:29	変位変形は認められないことを確認しております。
0:26:35	続きまして 272 ページ。
0:26:38	272 ページを
0:26:46	272 ページは今泉ほか 2018 が推計をの屈曲を示す蔦澤において、実施したボーリングAWD-1 につきまして、
0:26:59	前回のヒアリング資料では身長 114mとしておりましたが、
0:27:04	115 メートルと記載を適正化して適正化しております。
0:27:12	続きまして、巻末資料のほう行きまして、311 ページをご覧ください。
0:27:24	311 ページ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:26	の能登半島西岸の段丘面高度分布というページでこれの下の図で沈みから岩盤の間の基盤が上限標高どう最大値を周辺の段丘面内縁標高と、
0:27:43	比較して示していることについて、上の箱書きの上から二つ目の丸のところに記載を追加しております。
0:27:55	沈みから願望に分布する地形面においては、地下の基盤が上限を改正の侵食面と仮定した場合の旧汀線高度を各地形面において、海岸線に直交する方向の
0:28:10	断面上における基盤が上限標高の最大値として、検討したというふうに記載を追加しております。
0:28:20	本資料の修正箇所は以上になりまして、今回データ集のところに、
0:28:26	前回審査会合以降に追加したボーリング孔へ7本ありますけども、この7本の柱状図コア写真ボアホールってDBのデータを追加しました。
0:28:41	資料の説明は以上です。
0:28:48	はい規制庁谷です。説明ありがとうございました。
0:28:52	今聞く限りは、
0:28:55	前回のヒアリングからですね。ちょこちょこデータの追加だとか、記載が足りないところが追記されているけれども、大きな流れとしては変更がないということだと思うので、
0:29:11	全体として、順番にちょっと細かい話から、もう入っていきたいと確認したいと思います。
0:29:20	で、
0:29:21	まず1点目なんですけど。
0:29:25	ちょっと前回の会合で、
0:29:28	こちらのほうから、これ多分
0:29:32	福浦断層の
0:29:35	話のときにちょっと敷地の範囲も、
0:29:38	示して、
0:29:39	断層と敷地との関係もわかるようにといった旨のコメントもしていると思うんですけど、ちょっと
0:29:49	そこに対する
0:29:51	お答えっていうのがどこにあるか。
0:29:56	教えてもらっていいですか。
0:30:01	北陸電力キムラです。まず67ページをご覧ください。
0:30:09	67ページ福浦断層周辺の地質図というページになりますけども、
0:30:17	この図で福浦断層のトレース示しておりますけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:22	大坪がダムがある周辺って書いてあるところの左側に志賀原子力発電所って いうのがありまして、
0:30:30	ここはサイトの位置になりますけども、ここにD' 断面というものを追加して おります。
0:30:38	このBB' 断面が次の 68 ページに示しております、
0:30:44	68 ページで、
0:30:47	12 号機っていうふうに書いてあります。もうこれは原子炉建屋の位置になり ますけども、これとの位置関係を現象建屋と断層との位置関係をこのように示 しております。ちょっとですね。そうだったら若干ちょっと
0:31:06	認識のずれがあるかなと思ってちょっと平面的に僕たちが確認したかったの が、志賀原子力発電所の敷地ってというのはこの範囲なんだよと。で、
0:31:21	なおかつ発電所ってというのは、今後この範囲なのかとか、そういう関係です ね。
0:31:28	平面的な話も含めてちょっと 1 枚、これは資料を作ってもらったらいかなと思 いました資料としては作っていただいたということなんですけど、若干ちょっ と、私たちが確認したかったことと、
0:31:43	はちょっと違うかなと思いますので、ぜひちょっと 1 枚追加お願いしたいん ですけどよろしいですか。
0:31:51	北陸電力のノハラです。
0:31:53	今ほどの御指摘資料のほうへ反映させたいと思いますが、67 ページの地質 平面図のほうに、そういった発電所の敷地の境界ですとかそういったものを
0:32:05	入れるような形でよろしいでしょうか。何か別ペーパー別ページに改めてお示 したほうがよろしいでしょうか。
0:32:14	規制庁タニですけど、ちょっとねはっきりわかるようにしていただきたいん ですけど、67 ページでもはっきりわかるんだっていうんだったらいいと思 うんですけど、何か微妙にしき敷地発電所の敷地ではあるんだけど、
0:32:30	発電所の発電所ではないとか何かその辺のちょっと微妙なニュアンスがあっ たと思うんですね
0:32:40	RIDMでした大坪川ダムの辺りですね。
0:32:43	その辺の説明がわかるようにしていただきたいので、別に入れ方は任せしま すけど。
0:32:50	このページでわかるのであればそれでも構いません。
0:32:56	北陸電力ノハラです。今ほどの御指摘踏まえましてちょっと入れ方も含めて、 こちらで検討した上で資料の作成したいと思います。
0:33:05	以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:06	はい規制庁タニですはいよろしくお願ひします。
0:33:10	そうですね。ちよつと細かい話おふくろ断層のほうから確認していきたいと思ひます。61 ページをお願ひします。
0:33:23	61 ページで南端付近の調査位置図とかで今回副断層のトレースを入れてもらったんですけども、
0:33:36	とりあえずの中で、
0:33:37	大坪側がダム右岸トレンチで見つけた断層がこうなんか収斂していくような形で書かれてますよね。
0:33:45	日本リニアメントがあつて片方に収斂するような形で書かれてるんですけど、この収れんさせてるっていうのはどういふ考えで、こゝういふ形でさせてるのかっていうのを教えてもらえますか。
0:34:04	北陸電力キムラです。そのことにつきましては、ちよつと 103 ページのところに記載してありまして、103 ページをご覧ください。
0:34:21	103 ページの上の箱書きの一つ目の丸になりまして、
0:34:26	大坪がダムなんでは、東側と西側の 2 本の断層が推定されるで地形調査の結果、東側の断層の延長位置には逆向きの低害が認められるが、西側の断層の延長位置に分布する。
0:34:42	段丘面には東側への傾斜が認められないこと。
0:34:47	南西ほうに分布するかにつけないときには断層は認められないことから、音がダム砂岩では断層は 1 本に収斂しているものと判断したといふふうに記載しております。
0:35:02	この地形につきましては、
0:35:06	前のページの 102 ページのところ、
0:35:10	ですけども。
0:35:11	積がダム。
0:35:14	脳未満で 2 本断層は引かれているところについては、CCb' 断面で、リニアメント変動地形、
0:35:24	が 2 ヶ所、
0:35:26	足りてるんですけども。
0:35:30	逆向きの堤外の位置と、その西側に
0:35:36	段丘面の東側への傾斜っていうのは認められます。
0:35:41	それに対して、真ん中の b' 断面につきましては逆向きの堤外は認められるんですけども、東側への傾斜といふところの延長方向の高位段丘 I b 面を見ると、
0:35:56	この東側への傾斜といふのが認められないといふことから、この地形は、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:03	リニアメント変動地形は、ここ。
0:36:05	西側の
0:36:07	断層についてはここで途絶えているというふうに判断して、
0:36:12	西側の断層は東側のほうに収斂しているというふうに影響を判断してこのような
0:36:21	形で断層を期待しているということになります。
0:36:26	それから、126 ページですけれども、
0:36:33	126 ページでにつけ、
0:36:36	3と4について、調査しておりますけれども、こういったところにも断層は認められないということも踏まえまして、
0:36:46	この西側の断層につきましては、こちらの方にも連続しないということを確認しているので、
0:36:52	西側の断層は東側の断層のほうに収斂しているというふうに評価しております。
0:36:58	以上です。
0:37:01	規制庁タニです。はい、考えは何となくわかっていました。とにかくその先になり、その先に断層を示唆するようなものがなくて、じゃあの止めるかって言ったら止めるんじゃないかって福浦断層と同じだから収れんさせたっていうような
0:37:17	考え方でいるってことですかね。
0:37:20	はい。
0:37:23	今回確認できました。
0:37:31	ですね。
0:37:34	あと引き続きなんですけれども、
0:37:37	ちょっと私の項目の前々89 ページですか。
0:37:41	前もこの辺の話を確認したのかもしれないんですけど。
0:37:46	89 ページで上から 12345 番目の断面図では、要するに 5 番目の断面図はLANっていう北側の端部よりも南側、ここでは逆向きの低外っていうのをつけて、
0:38:03	認定してて、その 1 個上の断面では同じようにタニ地形というんですかね、空港
0:38:12	こう落ち込んでるような地形があるんですけども、
0:38:16	ここはタニなり逆向きの低外っていうのは、認定していないわけなんですけれども、これって逆向きの低が一定程度、どういうときに、認定するのか、この例えばNLの断面と、
0:38:33	A1 とN1 の断面のこの形で、この形だけで何かこう違いを認めているのかどうなのか説明してもらっていいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:49	北陸電力キムラです。
0:38:53	1 断面につきましては逆向きの堤外ってところがありまして、これタニ地形の西側のあの壁面
0:39:06	といいますか、西側にがけが立っているところを呼んでおりまして、この崖がここだけじゃなくて、ずっと。
0:39:16	南北に繋がっているということから、これを逆向きの低外というふうに
0:39:23	地形要素として認定して判読しております。
0:39:27	NetNEC´断面については、
0:39:32	H4 面というところですかね、H4 面ってところの東側にちょっとタニつけがあつて、
0:39:39	このタニ地形から、
0:39:42	H4 面に上がるところに、
0:39:46	がけといいますか。ちょっと斜面があるんですけども、これ逆向きの低該当読まないのかということについては、これ、
0:39:57	この断面だけじゃなくて、南北の繋がりを見てこの崖が南北に連続して、
0:40:04	いるかどうか、いなければ逆向きの低ガイドは読みませんし、崖がずっと連続していれば、逆向き予定外と読むと、
0:40:14	いうことで、
0:40:15	ページH´断面については連続するかが
0:40:21	ここに認められるということで、N1、
0:40:25	N1´断面については連続するがけがないということで判読されないというふうに評価をしております。
0:40:34	以上です。
0:40:43	規制庁タニです。
0:40:45	だから、これはあくまであれですかね、この断面図に落としてるのは、空中写真判読した結果を置こうとしてるんであって、ぱっと見この断面だけで見ても、その辺の判断はつかなくて、やっぱり周辺の
0:41:02	状況も確認して、こっちは逆向きの低崖じゃないし、こっちは逆向きの低カイダといった高のかちやうあれですね、空中写真の平面的な連続もちゃんと見て判断してるっていう
0:41:16	御党されてるってことですかね。
0:41:22	はい、そうです空中写真や航空レーザー計測などで、周辺の地形を見て連続性というものを見て、
0:41:32	リニアメントを判読しております。
0:41:36	はい規制庁谷です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:38	ちょっとですね、この辺のこうだから、北側の端部ってしてるところのさらに上の断面図って、これ多分、大事な断面図だと思うので、
0:41:49	何かその辺のことも書いてもらおうと。
0:41:52	誤解を招かないかなと思うので、ぜひちょっと説明はしておいていただきたいなと思います。よろしいですかね。
0:42:07	北陸電力キムラです。了解いたしました。
0:42:12	規制庁単に再開考え方はわかりましたよ。
0:42:15	それで、あとは明文機能検討みたいなの北側も南側も、
0:42:23	えっとされてる。
0:42:26	んですけど福浦断層の
0:42:29	何ページ以降の 110 ページ以降ですか。
0:42:33	これ会合で、
0:42:35	ちらっと言ったのがその谷の方向が
0:42:39	北側、北側と南側では何か向きが変わりますよねっていう話も、
0:42:47	会合で言ってると思うんですね、このタニの向きの傾向が変わるんじゃないのかと、これは結局、今の資料ではあんまりその辺は書いてないんですけど、別にこれ資料にしてくださいって言うつもりもないんですけど。
0:43:04	何がタニの方向変えてるっていうふうに考えているのか、今もし何かお考えがありましたら、
0:43:12	教えてください。
0:43:28	北陸電力キムラです。
0:43:30	ちょっと今の質問の
0:43:33	出資の確認に、
0:43:36	なりますけども福浦断層の北部と南部で、
0:43:41	タニの方向が
0:43:43	異なるという行為、これについての
0:43:48	どう考えているかっていうことでしょうか。そうですね。規制庁ためですけど、例えば 110 ページで、南側に福浦断層、この南側のほうはタニ地形がこう報告。
0:44:02	北東から南西方向にこう系統的にこう向きがそんな方向になってますよね。
0:44:10	ええ、なのでこういったのも分岐しないのか確認してくださいということで調査はしっかりとされてるみたいなんですけど、しっかりとということはたくさんこう
0:44:20	データをついてるの確認してるんですけど。
0:44:24	結局、この辺の
0:44:26	何点形成恣意的な棒なんか地質構造なのか何なのか、何が違ってこうなってるのかとか考えがあれば教えてくださいというところですよ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:46	いや、特になければいいです
0:44:50	もし調査している中で何かそういう話があったのかなと思って。
0:45:03	ヨシダです。今程の質問を要するに福浦断層の北側北西のほうに向かって、
0:45:12	下流に口の南のほうは南西のほうに行くと、
0:45:16	まず地質的な観点、例えば抽出が弱いからそこに向かって流れるとタニというのは、やはりそういう抵抗が弱いからタニ水が流れるっていう前提に立てば、例えば今の考えです。私の考えですけれども、
0:45:31	地質は、ここすべて全銘柄めぐりその安山岩が基盤にありますので、特に地質的な差異は。
0:45:38	上のほうとおっしゃらないとすると、多分、高いところから低いところ、例えば福浦断層の中央部が少し
0:45:48	ただければ、それぞれ方向が変わっていくのかなっていう考えもありますし、あと一つ、タニ地形1といったところはですね、先ほど昔の地形図を113ページですか、見ると福浦断層からず一と海のほうに、北西側にですね。
0:46:05	流れていってるのはなくて、途中から交わす場変えていってますので、そういった1につきましてはちょっと違うのかなというのがありますがけれども、いずれにしても、ちょっと断層っていうのが、家族に認められていませんので、
0:46:21	こういう評価にしていますので、ちょっとその辺の
0:46:26	方向の違いの考察っていうのも、もし加えたほうがよろしいですかね。ちょっと私今の考えを自分の考えを申したんですけども、ちょっといろいろ教えていただきたいと思います。規制庁タニです。いやこれは今のところ、別に答えを求めているようなものではなくって、調査されている中でどんな話になったのかなっていうの
0:46:47	確認しただけですんで。ただ、変動地形と関連するとなると何かちょっと
0:46:54	んだったら、
0:46:58	非常に重要な方向だなと今こう聞いてて思っはいるんですけど、ちょっと資料のほうもよく確認して見るようにしますので、特に何かこうまとめてくださいと、今の段階で言うつもりはありません。
0:47:24	後ですね引き続きなんですけど、ちょっとこの次で210ページで、このタニ地形12っていう時他方のほうに流れる
0:47:32	タニ地形については、海岸沿いの例えば口空中写真とかで露頭の説明をされてるんですけど、南側この南西方エリアっていうのについては、
0:47:50	特にそういったこう資料っていうのを今ついてないと思うんですけど、この辺の違いって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:56	どうなんですかその露頭がもう全然なくて、こういった資料が北のような資料はつけられないのかちょっと考えが
0:48:06	どうして違うのか教えてください。
0:48:12	振休連絡のノハラです。
0:48:15	なるほどのタニつけ1の北側のほうの海岸部につきましては、海岸露頭が広く分布しておりますので、調査できたんですが、
0:48:25	この度つけ三、四の南側のほうにつきましては、
0:48:29	港漁港になっておりまして、こういった海岸の
0:48:34	ございませんので、そういった調査、調査データを今つけていない。
0:48:38	そういった状況になっております。
0:48:40	以上です。
0:48:43	はい規制庁谷です。皆南側だから露頭がないないってことなんです。
0:48:50	断層が断層というか、そのセンターにどんな地質になってるかっていう露頭判断できる露頭がないってということなんですかね。
0:49:00	それとも少しはあるけれどもわかりにくいのか、ちょっとその辺のニュアンスを
0:49:11	連続的にはございませんが少しはどうございますので、
0:49:21	多分、
0:49:23	打ちど。
0:49:27	少々お待ちください。
0:49:44	失礼しました。あの南側につきましてはなどになっておりまして、そういった評価できるようなことは分布しておりませんので、今回の資料につけておりません。
0:49:54	。
0:50:00	はい、状況はわかりました。
0:50:04	ちょっとよく言えば、その辺なんか見てはいるんですよ。
0:50:09	ということだと思うので、
0:50:11	見ているけどこんな状況ですみたいなのも何か北側と松井になって説明してもらったほうが私たちとしてわかりやすいかなと思うんですけど、その辺は事実確認はできました。
0:50:26	それで説明してもらってもいいかなと思うんですけど、どうですかね。
0:50:33	北陸電力のノハラですね、今ほどの御指摘につきまして南側の状況も状況を示した上で、前露頭が確認できるとかできないとか、そういったことを資料化したいと思いますので、それからフジタ直したいと思います。
0:50:48	はい、お願いします。
0:51:08	規制庁タニです。福浦断層のほうの確認はちょっとこれぐらいにして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:14	時川難関断層なんですけど。
0:51:19	どこ。
0:51:23	南端の評価、例えば 248 ページとかで、
0:51:31	調査位置図、
0:51:33	書かれてるのはかっ
0:51:35	徹底 247 ページで長さの評価とか書かれてるんですけど、これって、
0:51:42	前のあの会合で、
0:51:50	287 ページかな標高で 17 ページとこの子。
0:52:00	これDDD2 層の上面とか、
0:52:04	上限を
0:52:07	等高線を示していただいているんですけどこういったのは担保評価にはこう用いない。
0:52:15	ということでもいいんですかね。
0:52:22	北陸電力のノハラですと 287 ページの資料につきましては、こちらの沖側ながら断層等角度容器断層のその間の地質構造の説明として、今回資料つけさせていただきました。
0:52:36	247 ページの時は 7 その評価とまた戻りますが、
0:52:41	時は 7 層自体の破損の評価につきましては、この南側の音波探査記録でしっかり断層が認められないということを確認しておりますので、取り上げながら断層自体が長さの評価に今 287 ページの
0:52:56	コンタ図というのは
0:52:59	用いておりません。
0:53:01	ただこの中 17 ページのコンター図を見ますと、岩永断層の延長上会期の延長上につきましては、
0:53:08	これ舌状面がオレンジで示す示せ深度になっておりまして、
0:53:14	これが時アナウンスを挟んでちょっと南で高さが変わらないという状況。
0:53:20	こういった状況もこのコンターで確認することはできます。
0:53:26	そういった状況で時何の評価自体にこのコンター図自体は使っておりませんが、コンター図からも、あのときが、長さが会議の議題で状況は見ております。
0:53:36	以上です。
0:53:41	はい。規制庁タニですとか考えは事実確認ができました。
0:54:07	規制庁タニです。後ですね大分飛んでいただいて 311 ページで、
0:54:15	二つ目の
0:54:17	上の箱書きの二つ目の丸ですね。
0:54:21	これ、今回追加されたのかな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:24	最後に、ここの
0:54:27	なんですかね 7 観の辺りのこの基盤が一状面の話っていうのが説明されてるんですけど、これで最終的には当期か湾岸断層による変位を反映している可能性があるっていうふうに評価されてるんですけど。
0:54:44	これは、
0:54:46	時川何がん断層なんです、例えばそれより北側笹波沖断層たいていうのの影響があるんじゃないのかっていう話をされて、それと連続じゃなくてこれは時側なんだと。
0:55:01	の可能性はあるっていうわざと時が何か 2 項の話をされてるっていうのは何かその背景に考えありますか。
0:55:14	北陸電力の小林です。
0:55:17	今ほど御指摘いただきました。0、
0:55:21	まず、
0:55:23	その向き断層隊による
0:55:26	昨年度ですね、これに関しましては、
0:55:30	2007 年の担当地震のときに、実際データで測定の元のデータでとらえておりました、その中で、それが今アメリカで 1 ページの一番下の
0:55:45	図のところですね、赤四角で入ってるんですが、こういった形で変動量があったら言っております。
0:55:54	これ見ていただきますと、
0:55:58	25 と書いたんですね、こちらのほうで大体鉛直隆起量がゼロに近くなっておりまして、これと上の一つ目の図の
0:56:11	富士電機 1 面の緑丸の高さのこの傾きを比べたときに、似ているということがありまして、
0:56:21	この説明を受けた状態のによる変位につきましては、概ね町の裏ぐらいまでに影響範囲が
0:56:32	大まかなところ終わっているのではないかと考えておりますに、先ほどの話で出すより南の南の質疑のところの
0:56:42	このコードがどうなるのかというときに、今改正面の高度ではなくてあくまで基盤頑丈面標高であるんですが、大分重ねていったときに、ちょっと汚いエコーがあると
0:56:58	そちらのすぐ北側に岩永断層があるということで、この分布の高さの蛍光灯断層の配置から考えますと協議は長い断層による変位の保管している可能性が
0:57:14	○のではないかと考えにこのような記載をしております。
0:57:18	以上です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:21	規制庁タニです。
0:57:23	はい、あの状況わかりました。そうだからあれですね、笹波沖断層っていうのがちの裏って書いてあるんですかねこのこの辺までが影響範囲だろうから、そこより外れるけどちょっとして傾動してるとしたら違う断層、
0:57:40	ではないかといったことが書かれているということで説明を理解しました。
0:58:12	設置規制庁カイダです。
0:58:15	規制庁カイダですけども、
0:58:18	今回、
0:58:19	別途補足のほうで、
0:58:23	段丘面がほぼ陸全カフジタですすいません患者さんのほうをちょっとこちらをにくなってるんですが、お願い。
0:58:31	ちょっとマイク確認お願いします。
0:58:37	ここ今度は聞こえますか。
0:58:41	大丈夫です。ありがとうございます。
0:58:43	はい失礼しました。
0:58:46	今回ですね前回からの変更箇所として、
0:58:51	補足のほうにですね
0:58:54	段丘面の追加調査を追加したのが入ってるかなと思います。例えば、
0:59:02	2.2. 1 の
0:59:05	140 とか 141 辺りが、
0:59:10	そこに該当するのかなと思ってますけど。
0:59:14	そこも含めてなんですけどこの資料で
0:59:19	ちょっとした柱状図とか資料があるので、そこで確認なんですけど。
0:59:27	例えば今回 130。
0:59:30	2.2.
0:59:32	1-
0:59:34	140 とか 141 で、
0:59:37	剣道場で調査して、
0:59:40	Pdとか、
0:59:43	K-Tzとかも確認したという表示になってて、
0:59:49	ここシルトとか、
0:59:51	なさそうだったところ、
0:59:54	それがあるんですね、歳出シルトとか砂まじりシルトとか、
0:59:59	他のところも見ても
1:00:01	シルトとかそういったところに

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:05	火山灰とかが入っているような
1:00:08	形での記載になってるんですけど、これ
1:00:11	ロームとかっていうような記載あんまり見当たらないんですけど。
1:00:16	これは別にそういうロームとか成因
1:00:19	ほかに関係なく、
1:00:21	粒度で、そのシルトとかの
1:00:24	砂とか、そういう表示になってるから。
1:00:27	ロームっていうのはないんでしょうか。その
1:00:30	考え方っていうかを確認したいんですが、よろしくお願いします。
1:00:38	北陸電力の小林です。
1:00:40	今ほどご指摘いただきました件ですが、今まで記載としては、仰られたように基本的に流動に基づく記載をしております。一応ちょっと我々のほうではあまり労務という記載を使っておりません。
1:00:56	でして、そのかわり、横に括弧書きで、例えばアンカ食堂長であるとか、民営化食堂状況という記載があるんですが、こういったものを解釈として入れて同条の紙というところ。
1:01:14	少し具体性も反映してるかなということで考えてこういった記載を使っていると。だから、単純な流量の記載が一つと、あとはそれに対する解釈として、土壌名の記載があるというような形になっております。
1:01:27	以上です。
1:01:31	はい、カイダです。わかりましたじゃ
1:01:34	この同乗っていうのは、
1:01:38	何て言いますところ、
1:01:40	段丘堆積物、
1:01:42	ではなくて、そのあとに、
1:01:46	この辺りの地表で植物とかも含めていろいろ
1:01:52	陸の上でできたようなものという意味で同上と書いてあるという、そういう
1:01:57	ことですか。
1:01:59	お願いします。
1:02:02	北陸電力のコバヤシですと、
1:02:05	伝えた通りでして、
1:02:08	基本的にはおそらく、ふう整理そのものな物がたまってそれが土壌化しているのかなというふうに考えておりますが、陸成のものというふうに考えております。
1:02:19	ようです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:23	はい、カイダです。わかりました。
1:02:26	ほかのページもそういったスタッフでちょっと書式はいろんなところで、
1:02:34	違ってはいるけどそういうスタンスで書いてあるというふうなつもりで見ていけばよろしいんですか。
1:02:43	これクリニックのコバヤシです。はい。そういうな形で大丈夫です。
1:02:50	はい、カイダですわかりましたありがとうございます。
1:02:57	規制庁タニです。ちょっと細かい点気になってるところに 187 ページですか。
1:03:03	287 ページで、
1:03:07	上の四角書きで、
1:03:11	三つ目の丸なんですけど、これ書いてるのは株という大きな断層の北側の話はここでされています報告と、北方延長ではこの急激に落ち込んでるところが認められないというふうな
1:03:27	書き方しています。多分これあれですよとギガ難関断層等の関係を整理する上で北側の話をされてると思うんですけど。
1:03:37	兜岩沖断層の南側っていうのは、これはどうゆうふうの評価してるんですか、これは急激に落ち込んでいない。
1:03:46	というふうな評価なのか。
1:03:48	ちょっと同じように南側を説明するとしたらどう言うか、説明になるんでしょうか。
1:03:59	北陸電力の石田です。
1:04:01	兜岩沖断層の南側につきましては、今、兜岩沖断層のトレースがええと記載されていますけれども、大体兜岩沖断層の色で言いますと 100 メーターのコンターから緑色のコンターに変わる辺りぐらいまで、
1:04:18	が球菌落ち込んでいるというような形になっております。
1:04:23	さらに下部胴及び断層の南側に行きますと、このコンターの
1:04:28	／が面的に広がっていきまして、だんだん緩やかになっていっていますので、こちらにつきましては、
1:04:35	我々としては急激に落ち込むような形にはなっていないというふうに判断をしております。
1:04:40	以上です。
1:04:45	規制庁投入するわけですねだから黄色のラインが来そろってるとこじゃなくてその左側の
1:04:51	色のコントラストが大きいところは 99

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:56	急崖急激に落ち込んでるって言うところなんですね、これさっきの説明も何か南側もどう評価してるのかっていうのわかるようにしていただけたらと思うんですけど、いいですかね。
1:05:11	ご理解電力一緒です。承知いたしました。
1:05:13	はい、お願いします。
1:05:28	規制庁タニですけど、あとですねヒアリングの最中に、所々あのボーリングの延長が1メートルなんか。
1:05:38	増えて適正化したっていう話があったんですけど。
1:05:42	それって何。なぜそんなことになって、前回間違ってたってことなんですか1名多分
1:05:54	北陸電力の和田です。すいませんの前回会合の時点ではその間違っておりましたので、今回、正しい値になおさとそういった件となっております。
1:06:05	以上です。あれですね前回ヒアリングですよ、ヒアリングのときに間違えた数字だったってことですか。
1:06:13	失礼しました。前回ヒアリングのときに間違っていた数字となっております。
1:06:18	規制庁といった単純に間違っちゃったことですね。わかりました。
1:06:33	北陸電力のノハラですと
1:06:37	1点、272ページのボーリングございますが、岩永断層のボーリングになりますが、このボーリングにつきましては、前回ヒアリング
1:06:47	時点で残り1mだけが2観察でありました。
1:06:51	それと今回のヒアリングにその1m分も観察終わりましたので、
1:06:58	詰める変更したそういった経緯となっております。
1:07:02	以上です。
1:07:03	規制庁刀禰です。
1:07:05	ちょっとそういった説明をされると。
1:07:08	ホテル震度は間違いなく115なんですか高校のそれぞれ今回の資料に出ているボーリングっていうのは観察している全部観察できて、ここに入ってる振動＝屈指委員長。
1:07:24	っていう、
1:07:25	全部のコアがそうなるってことで理解していいですか。
1:07:31	要するに今のままです。
1:07:34	今こちらの今回の資料につけている長さにつきましてそれが抗力慎重で全部観察をした範囲となっております。
1:07:42	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:44	はい、確認できました。ちょっとですねその辺の話はですね前回のやっぱりヒアリングのときに状況っていう、これは何メーターのボーリングの何メーターなんだとかいう説明をちゃんとしておかないと、あとですね、何で変わったんだっていうのを説明。
1:08:02	誤解を招くと思いますので、今後しっかりお願いいたします。
1:08:08	北陸電力フジタです。その哲学者は前回ちょっと御説明が抜けてました。申し訳ございません。ここがこのボーリングに関係しましてはしっかり確認の上、
1:08:17	状況的に御説明したいと思います。以上です。
1:09:02	カイダです。先ほどの確認でちょっと改めてといいますか、引き続きというか、
1:09:10	確認なんですけど、
1:09:13	補足のほうで、
1:09:16	例えば2-2-1の115ページとかを見、
1:09:20	見ると、
1:09:22	先ほど、
1:09:24	と違って同乗みたいなの、
1:09:28	記載がないくてですね、全部シルトとか粘土質
1:09:34	シルトで、そこに
1:09:38	火山灰が2種類入ってるっていうと相似になってて、
1:09:43	例えばこれ、
1:09:46	八、九十とかは高位段丘面なんで
1:09:50	これが段丘堆積物ではないと思うんですけど。
1:09:55	何かこの中で、この柱状図とか見て、ここまでが、
1:10:00	段丘堆積物でここから上は土壌なり、
1:10:04	ロームっていうか陸成のもんだとわかる。
1:10:10	かというところを見たらそこら辺の違いがわかるのかをちょっと確認したいんですが、懇これからのちょっと見ていく上でちょっと
1:10:19	上記たいんですけども、
1:10:20	お願いします。
1:10:23	北陸電力の小林です。ちょっと柱状図間でトーンが違う部分がありましてそこからちょっと申し訳ないんですけど、
1:10:33	今言っていたいでいる115ページ、2-2-1の115ページ。
1:10:39	のところで申しますと、凡例のところに被覆層という記載がございまして、日くそ
1:10:50	すいません次の116ページ見ていただくとわかりやすいかなと思うんですが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:56	こちらの凡例ですと、緑色の改正堆積物というものがありまして、こちらが段丘堆積月別というふうに考えておりますので、この段丘堆積物を覆う地層、
1:11:11	につきましている茶色で被覆層と対比しておりますので、緑色が旧堆積物で、
1:11:21	それを
1:11:22	覆っているものが材料の被覆層、
1:11:25	というような区分けになります。
1:11:28	以上です。
1:11:31	会カイダですがわかりましたじゃあもう
1:11:34	115 ページ辺りってというのは、
1:11:36	もう段丘面の上面ってというのは、こうも岩盤がそのまま出てがもう
1:11:43	全部被覆層だということで、
1:11:46	ここの断面には出てきてないけど、
1:11:50	ほかのところを見れば、さっきみたいに緑のもあるともまあそういうことですか。
1:11:58	北陸電力の小林です。はい。仰られたような理解でよろしいです。以上です。
1:12:06	はい、わかりました。ありがとうございます。
1:13:53	規制庁サグチですけども、すみませんちょっと教えていただきたい。細かいことなんですけど。
1:14:01	274 ページの
1:14:04	重力異常から
1:14:06	あるんですけど、時がマンガン断層の端部ということで、
1:14:10	これ
1:14:12	方向はちょっと傾いているんですけど。
1:14:16	例えば、
1:14:19	4、40、4319 ページですかね、39 ページで、
1:14:26	少なくとも下の
1:14:29	なんて言うんすかねカラーバーのスケールが、
1:14:32	実は違って、何かちょっと説明を見ると何かおんなじような
1:14:38	その状況とか遮断波長を 3kmの包括とかおんなじなんですけど、何かちょっと与えとスケールが違うんですけど、何かこれって、
1:14:49	違うんですか。
1:14:59	北陸電力の浜田です。まず 39 ページのほうの

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:05	記載ですけど、ここは重力異常長波長成分の状況は行っていないので、カーブ的には、およそ 20 から 60 になりますし、274 のほうは、こっちは長波長のほうの処理も、
1:15:21	行っておりますので、当範囲幅が 0 から 16 ということでちょっとこと二つは長波長のほうのフィルターが違った形になっております。以上です。
1:15:36	はいサグチですということは 39 ページのこの左の箱書きが違うってことですか。これ箱書きの中は思い切り平面トレンド状況及び遮断課長 3kg/フィルター処理後の
1:15:49	もう形状増
1:15:51	もとに作成したものを作成した、もう一つ上の上ですね、ブーゲー異常図は重力異常長波長成分の除去を行っていないが、左の図の説明で、右の水平リブのほうは、
1:16:07	状況は行っておりますので、左の図は行っていないという
1:16:14	ふうに
1:16:15	書いております。以上です。
1:16:17	サグチわかりました。
1:16:19	39 ページが、一段上の部分が多いってことですね。だからそこは
1:16:27	ちょっと行っていないんで、この 274 ページは、
1:16:32	直近は行っている。
1:16:38	ていう違い。
1:16:39	ということですね、事実確認はできましたけど、
1:16:44	何か今の記載だとちょっとそこまで読めないんでわからなかったんで、とりあえず事実確認ができたんでありがとうございます。
1:18:04	規制庁投入するさっきのサグチさんの
1:18:09	見込んでしてなんですけど
1:18:11	処理ですね処理によって、例えばブーゲー異常図の形、色は変わってきますよねってということになると。
1:18:22	このフィルターによって例えば 275 ですね、時側難関断層のこと目に鉛直一次微分値が 0 んんミリガル/kgメーターの等高線を見てるわけなんですけど。
1:18:39	こういったことは変わってこないんです。
1:18:44	水平一次微分図の
1:18:48	1、1 次微分値が -5 等高線っていうのは変わってくることはないんですかっていう質問です。
1:18:57	北陸電カインダです。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:59	今ほどの御指摘につきましては、
1:19:02	確かに今、
1:19:04	こちらの図につきましては、山頂 3 キロのフィルター処理を行って作った。
1:19:10	いずれ鉛直一次微分値ポーターしております。もしこのフィルターの辺りが変われば、確かに若干ですけれども、
1:19:20	屈曲位置が変わる可能性はあるんですけれども、このフィルターの処理の数字に関しましては、断層の長さ。
1:19:29	に応じたフィルターの値を用いてまして、またには何が断層の長さであれば、大体 3 強ぐらいが適当であろうところを金沢大学の平松教授にちょっとご意見いただきまして決定しております。
1:19:46	そうすると、つということトリガ湾岸断層の単点今回重力で決めておりますけれども、これにつきましてはこの 3km のフィルター処理を行った鉛直一次微分値を決めるのが適当かと判断しまして、このツールを使っております。以上です。
1:20:05	はい規制庁投入するいろいろこの 3km っていうのを選ぶにあたっていろいろ考えられてるっていうことを事実確認できたんですけど、この断層長決めるのに使ってる点なので、その辺の根拠。
1:20:22	だから 3km が適切なのかとかいう説明もですねちゃんと資料の中に盛り込んでいただく必要があるかなと思いますけど、よろしいですかね。
1:20:33	北陸電力イシダです。承知いたしました。
1:20:37	はい、お願いします。
1:21:17	規制庁の錦ですけれども、
1:21:19	補足し説明資料のところの火山灰分析のところちょっと確認させていただきたいんですが、
1:21:26	補足説明資料の 2-4 の
1:21:31	1-41 ページ辺りから、
1:21:36	K-Tz の
1:21:39	β 席の化学組成の分析値が出ているんですけれども、
1:21:45	大体そろってますよっていうことが示されているかと思うんですが、
1:21:50	2-4-1-53 ページ
1:21:54	のところだと、
1:21:56	これちょっとプロットが合うのプロットが
1:22:00	資料変えられたものとちょっと違う一部重なってるもありつつも違う、総水平のものがあるということがあって、これも K-Tz に

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:11	含まれるA-β石英中のガラス包有物の主成分と書かれているんですけども、他の
1:22:18	通ん近いところの斎藤で
1:22:21	何か。
1:22:22	ほとんどこういったちょっと外れたSs低いほうのないような感じがするこれだけ中ちょっとだつてあるんで、これはまた何か御考えがあるのか制度の中で、コンタミにシオンがあるのかなとかそういった何かちょっとお考えが
1:22:36	解釈があるんであればちょっと教えていただきたいんですけども。
1:22:43	北陸電力の小林です。今ほどコメントいただきましたK-Tzのデータ設計っていうのがそこに移し成分ということになるんですが、これが何でこう
1:22:58	賠モデルといいますか、分かれるかというところのしっかりとした形っていうものが現状ちょっとないんですけど、一応これ認定の根拠としましては、まず、前ページの
1:23:13	52 ページのほうでβ線設計のピークが
1:23:20	層準ぐらいから
1:23:22	がってたち出すということに加えて、あとは下の層準でええと。
1:23:30	2 万年前 2 万年ぐらい。
1:23:33	すいません 1 万年ぐらい古いSKが出ていて、その上の層準ということで、そういった情報も加味しておっしゃる通りちょっと修正半分ぐらいを充てるところもあるんですけど。
1:23:49	てる部分もあるので、そういったことを総合的に考えてK-Tzの降灰層準として認定しているというような形になります。以上です。
1:24:02	規制庁認識さは基本的にはこんどうぞっていうか費の層準がまじり合ってるので懇上野そうなり下の層なりが時入り組んでいるけれども、降った時期として、
1:24:16	以降の
1:24:18	地層であるという認定で使えてるという意味で、ここは押さえているという。
1:24:23	ことで理解しといてよろしいですかね。
1:24:30	北陸電力の小林です。
1:24:34	一応降灰層準としては、移せるに確かにちょっとコンタには上下相当あるかもしれないんですが、後配時期としては概ね
1:24:48	K-Tz時期を示しているというふうに考えております。以上です。
1:24:56	規制庁認識です。
1:24:58	お考えのところについては確認できました。ありがとうございます。もう 1 点なんですけども、同じく補足説明資料の 1-2-3-7 ページ。
1:25:09	辺りからですね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:11	今度はKK的確等のカラス主成分を町田新井なり青木町田の主成分と比較されているんですけども、ちょっと何となくこの、
1:25:26	前という形でだんだんずれているっていうのも見えてつともあと何といたしますかほかに給源不明の火山灰ということなんか。
1:25:35	プロット
1:25:37	何かの方にあってるように管理してちょっとここ、
1:25:40	一緒だっていうのはこれぐらいはチタンのこの差ぐらいは
1:25:44	期央んなりますか測定誤差。
1:25:48	というのもあまりそのあとはそうですね。そもそも火山灰が持つ、分布範囲です。組成の分布範囲に重なってくるというような理解で見ればいい、見ているのかなの辺りのお考えを教えてくださいなればと思いますがいかがでしょうか。
1:26:14	はい、北陸電力の小林です。のほど、
1:26:20	ええとおっしゃいましたように、下に確かに多少のぶれはありますが、基本的にほかの減損の16%がある程度調和的であると。
1:26:35	というようなことに
1:26:38	なので、忌憚の多少のぶれというところがありますが、K-Tz失礼しました加久藤の総量として人降灰層準として認定しているということになります。以上です。
1:26:52	規制庁認識です。これぐらいのぶれはありうるっていう認識でいいということで確認できましたありがとうございます。
1:27:11	カイダです。規制庁カイダです。
1:27:16	あとデータ集1のほうの
1:27:19	当初中身に確認したいんですけど。
1:27:23	ページ数でいくと。
1:27:27	1-2の
1:27:30	15かな。
1:27:32	以降で
1:27:35	F1'の柱状図とか、
1:27:39	これ写真とか、あるんですけど。
1:27:43	この他のやつは大体全部、
1:27:47	0mから、
1:27:49	掘った範囲
1:27:50	工程まで全部。
1:27:52	あるんですけど。
1:27:54	F1'に限っては24mから、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:59	柱状図も
1:28:01	コア写真もスタートしてるんですけども、浅い部分が入ってない理由っていうのは、特に
1:28:07	書いてないんですが、これはここなんです。
1:28:11	ちょっと見落としているのか、
1:28:14	確認したいんですけども。
1:28:16	お願いします。
1:28:25	北陸電力の機能です。
1:28:27	F1'の柱状図が24mから71m、
1:28:35	推定でゼロから24がないということですけども。
1:28:42	このボーリングにつきましては、積が駄目左岸のところでもリニアメント変動地形が、
1:28:51	判読されたところで福浦断層を確認するということを目的としたボーリングです、
1:28:58	リニアメント変動地形の位置から推定される断層の位置っていうのは30m付近というふうに想定できたので、
1:29:11	ワクチン速度を上げるために想定範囲までの
1:29:16	うん。24mよりも浅いところについては、呑んコアで苦心しました、そういったことから、0から24につきましては、コアがないので、今柱状図は、
1:29:31	ないという。
1:29:32	ことになります。このことについてちょっと
1:29:36	記載がないので、ちょっとわからなかったと思いますので、
1:29:42	説明書きを追記してお伝えしたいと思います。以上です。
1:29:51	はい。規制庁カイダです
1:29:54	そういう状況であることはわかりましたので。少なくとも
1:30:00	今おっしゃったように、
1:30:02	記載をちゃんと書いてどっかわかるように記載しておいていただきたいのでお願いし、
1:32:35	規制庁タニです。
1:32:38	さっきの20メートルまでは農耕で掘ったっていう話なんですけど。
1:32:44	この24メートルまではなんかでやっても例えばボールだけやるとかそういうことはできなかったんですか。やってやってるかやってないか、ちょっと
1:32:54	確認させてください。もうホールテレビをやってるか。
1:33:06	送り電力キムラです。某ホールにつきましても24mまではやっていないので、データはありません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:15	以上です。
1:33:16	はい、確認できました。ちなみにですね、結構ほかの孔ではちゃんと地表からボーリング孔とって、何でもこのまま大事って言ったならあれですけど、福浦断層の南端分を決めて、
1:33:34	るような
1:33:35	ボーリングでは、こうなんていうんですかね、24メートルまでは、
1:33:41	急いで掘らなきゃいけないからっていう発想になったのかっていうのをちょっと考えだけ確認させてもらっていいですか。
1:33:56	北陸電力のノハラです。基本的にボーリングにつきましては断層が認められないですとか、そういったものにつきましては全庁。
1:34:05	広報とることを基本としております。
1:34:08	で、この今F1'孔といいますのは、2013年ごろに実施したボーリングでして、
1:34:15	これだけ先ほども言いましたが目的としてそのリニアメント変動地形に対応する福浦断層の
1:34:21	性状確認しようとする目的限定で当時つくつ箇所でも工期を短くするというふうに考えまして、必要なところだけこうとったという経緯となっております。
1:34:37	以上です。
1:34:39	規制庁タニです。これはあれ、2013年にもうとってとこうなんですか。
1:34:46	今までこの辺のデータって出てなかったですよ。
1:34:51	例えば前々回の会合とあって、これなんで出てなかったんですか。
1:34:58	北陸電力のノハラです。
1:35:00	これまでににつきましては福浦で断層の性状を説明する目的ですとか、活動性に関するそういったデータをすべてではなく、
1:35:15	代表して出しているという経緯がございます。
1:35:18	今回、前回の審査会合で、断層トレースAを明確にするようにというコメントを踏まえまして、こういった当時、
1:35:28	以前実施していたデータにつきましても今回
1:35:32	すべて出すということで、今回改めて資料につけさせていただいた、そういった経緯となっております。
1:35:38	以上です。
1:35:40	はい規制庁谷です。リスクができたんですけど、これ今回の資料でボーリングが追加されている中で、このボーリング前からあったっていうのはここだけですか。
1:35:54	何か
1:35:56	F1'だけですかねと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:59	いや、もう1個。
1:36:02	もう1個ございまして、T2孔、
1:36:07	このページで言いますと、
1:36:11	うーん。
1:36:16	130ページ。
1:36:21	230ページに
1:36:24	また日計算。
1:36:25	いうところの22ヶ所をT2とOT3というボーリングがございしますが、
1:36:30	この内のT2孔、これにつきましても、2013年ごろに実施したボーリングとなっております。
1:36:37	OTサンコア今回
1:36:39	追加したボーリングになっております。
1:36:42	以上です。はい、わかりました、ちなみにこのOT1っていうのはどっかにあるんですか。
1:36:51	OdといいますのはOTの主な事項で実施したんですが、すぐに交易が崩れて失敗しましたので、改めて大きい2孔を掘り直したということで、おり事故データ等ございません。
1:37:04	以上です。
1:37:06	はい。
1:37:08	ちょっと整理できてきました。
1:37:11	あとは、先ほどの、だからF1'のような
1:37:16	広角にあつて、福浦断層の絡みの例えば延長上にあるようなもので、過去にやってるけど出してい内容のデータをまだあるんですか、ないんですか。
1:37:28	mgなわけです。もうございませんですが、今回あるものすべて資料につけさせていただきます。
1:37:35	以上です。
1:37:39	はい、事実確認できました。
1:37:42	はい、わかりました。
1:38:22	規制庁タニですけど、資料の確認についてはもう時間が
1:38:27	お時間起きてないのか。以上にしたいと思います。
1:38:32	これ資料のなおしていうのはどれぐらいになりそうですか。
1:38:43	北陸電力フジタです。今回特にタニ追加とございませんので、1週間以内には
1:38:49	しっかりした資料でできると思う。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:53	はい、規制庁タニです。一旦では資料出していただいて、それ確認させてもらって、介護に進むか、ヒアリング必要であれば、もう1回ヒアリングしますし、そういった形で進めさせていただこうと思いますけどよろしいですか。
1:39:12	かしこまりました。我々としては審査会合に
1:39:16	進めるような形でしっかり資料のほうは作っていきますんで、またその点よろしくお願ひしたいと思ひます。
1:39:23	はい、規制庁タニです。よろしくお願ひします。それではヒアリングを終わってよろしいですか。
1:39:32	はい、事業者側から特にこれで確認事項はございません。はい。
1:39:38	それではヒアリング以上にしたいと思ひます。お疲れ様でした。
1:39:44	ありがとう

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。